



江川の夜空に大輪の花 泉田と栗山で花火大会

泉田自治会と栗山自治会は、連携して町のコミュニティー活性化事業を活用し8月14日、馬淵川源流花火大会を行いました。

昼の部は、ニジマスをつかみ捕り。夜の部は盆踊りと、辰鼻地区の河川敷から打ち上げられた大小75発の花火大会。地区民ほか帰省客ら約200人は、江川の夜空に咲いた大輪の花に歓声をあげ、ゆく夏を惜しみました。同地区実行委員会は、「来年はもっと大きな花火を打ち上げたい」と、更に意気込みます。



20年前にタイムスリップ 思い出詰まるカプセル開封

山岸自治会（山岸一男会長）は8月15日、地区公民館で約40人が見守る中、20年前に埋設したタイムカプセルを開封しました。

スコップで掘り始め、その後重機で掘ること約30分。ようやく現れた二つのバケツに「あった！あ～良かった」と参加者らは拍手喝采。

バケツの中から、当時の新聞や町の広報誌と子どもたちの作文が取り出され、それぞれの20年をひもとき感慨に浸りました。再びタイムカプセルを埋め、平成42年8月15日の開封を約束しました。



贈られた花束を手に、バースデーケーキの前で、鈴木町長に長寿の秘けつを教える小森ミヨさん

笑顔でますますお元気 小森ミヨさん100歳に

お盆間近の8月7日、小森ミヨさん（四日市）がめでたく満100歳の誕生日を迎えました。

家族が見守る中、鈴木重男町長が「まだまだ長生きして、若い人たちにいろいろな事をたくさん教えてください」と、花束などを贈りました。

「何もしないと退屈で一」と、シルバーカーを押して散歩したり、肌着を縫ったり袖上げをしたりと裁縫はまだ現役。長寿の秘けつは、「娘とおいやめいに面倒見てもらっていることと、何でも食べること。そして毎日欠かさず晩酌」とこりこり。用意された誕生ケーキのろうそくを力強く吹き消すと、家族らは大喝采。8月13日には、遠方の孫らも駆け付け、盛大にお祝いの会が開かれました。

会場を沸かせた最終種目の中学校共通男子四百メートルリレー(中)小学校共通男子四百メートルリレー(小)打田内翔くん(葛小) (中)



小中学校陸上記録会

四種目で記録の塗り替え

平成二十一年度町小中学校陸上記録会は八月二十五日、町内の小中学校八校が参加し総合運動公園で開催されました。晴天に恵まれ、爽やかな風を受けながら、日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。競技は小学校七種目、中学校十種目で百七十九人が記録に挑戦。四種目で記録が塗り替えられ、昨年に続き記録づくめの大会となりました。競技開始から終了まで、選手たちに各学校の応援席や父母らから盛んな声援が送られました。



中学校
◆共通女子400mリレー
記録56秒64
葛巻中A(左から千葉友絵さん、竹川由紀さん、上川原優紀奈さん、外久保貴恵さん)



中学校
◆共通男子200m
記録25秒14
横道竜也くん(葛巻中)



中学校
◆1年男子1500m
記録4分49秒00
吉沢敦也くん(葛巻中)



中学校
◆1年男子100m
記録12秒78
村田大成くん(江刈中)

大会新記録

澄んだ音色に酔いしれ 旧江刈川分校で音楽会

赤い屋根の分校(旧江刈川分校)で8月9日、ちいさな音楽会が開かれました。

盛岡市在住で町にゆかりのある藤岡泰子さんのフルートと、同じく盛岡市在住の伊藤玲子さんのピアノで奏でる曲は全部で8曲。集まった約80人の観客はなじみの曲からクラシックメロディまで、心地よい演奏に酔いしれました。アンコールでは、観客と一緒に「浜辺の歌」と「ふるさと」を斉唱。ちいさな分校のちいさな音楽会に、大きなハーモニーが響き渡りました。



馬淵川の恩恵に感謝し 川下りに100人が歓声

田野自治会(大村朝夫会長)主催の馬淵川清流川下りが8月16日、47隻約100人が参加して行われました。

お盆行事の恒例となった川下りは、水の恵みに感謝し今年で20回目。レースのほか仮装大賞や俳句大会も盛り込まれ、涼感を誘う約5kmの清流に参加者らの歓声がこだましました。

レース終了後は、旧田野小学校で魚のつかみ捕りや、民謡と踊りなどで記念大会に花を添えました。



共同生活で学ぶ20日間 サマースクールin森風

県内外の小学生が参加し森と風のがっこう(旧上外川分校)で行われたくすまき子どもサマースクールが8月14日、20日間の長期日程を終了しました。

今年のサマースクールは、エコ体験のほか20日間の共同生活に重点を置いたもの。日々の生活を通じ、自己中心的だった子どもたちが、お互いのことを考えられるまでに成長。仙台市から参加した山本智也(小5)君は「秘密基地づくりが楽しい。来年も来たい」と目を輝かせました。



心は古里に志は世界へ 加藤さん江刈中で講演

江刈中学校で8月6日、加藤千洋さん(朝日新聞編集委員)の講演会が行われました。

講演会は、加藤さんと同校の田鎖敏昭校長の縁で実現したもの。

加藤さんの37年間の海外特派員の話など新聞記者の経験から、情報社会の落とし穴や自分を表現することの大切さなどを力説。最後に、「古里・葛巻がある幸せを心に、高い目標を持って世界に羽ばたいてほしい」と願いを込めました。

